

授業科目

臨床神経学

担当教員名 亀山 茂樹	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎			○

授業の概要

本科目は前期に開講した『神経科学』を引き継ぐ科目である。前期の学習内容をもとに神経疾患の学習を進める。

授業の目的

臨床現場では神経科学の知識に基く論理的な病態理解とともに、患者の臨床像を症候群的に把握する能力も重要である。後者の学習のために病態生理学、疾患各論と症候学、診察検査法等をできるだけ関連させて授業を進める。

学習目標

代表的な神経疾患について、神経科学の知識に基く論理的な病態理解と臨床像の症候群的理解の両者を身に付けることが目的である。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	担当教員
1	臨床症候群という考え方	亀山 茂樹
2	大脳基底核疾患	亀山 茂樹
3	筋疾患	亀山 茂樹
4	神経筋接合部疾患, 末梢神経疾患	亀山 茂樹
5	神経根・脊髄疾患	亀山 茂樹
6	脳幹・脳神経疾患 (1)	亀山 茂樹
7	脳幹・脳神経疾患 (2)	亀山 茂樹
8	脳幹・脳神経疾患 (3)	亀山 茂樹
9	小脳疾患	亀山 茂樹
10	意識, 覚醒, 注意と その障害	亀山 茂樹
11	失語症	亀山 茂樹
12	その他の認知機能障害	亀山 茂樹
13	認知症	亀山 茂樹
14	その他の疾患	亀山 茂樹
15	まとめ	亀山 茂樹

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	※担当教員により別途連絡					
参考書						
その他の資料						

評価方法

小テスト、レポート、最終テストによって評価する。

履修上の留意点

脳血管障害など『神経科学』で扱った疾患の一部は、授業の主題には含めないが、定期試験の出題範囲には含める。

オフィスアワー・連絡先

初回の授業にて担当教員より連絡します。